



今回は 地歴公民科 による授業改善の報告です！

<授業改善の具体的な取り組みと方策>

- ① 普段の授業において、確かな知識・技能の習得を目指す。
- ② 身に付けた知識・技能・語学力をもとに、思考力や判断力を育成し、コミュニケーション力、表現力を伸ばす授業方法を研究し、授業に生かす。
- ③ 修得した様々な力を課題発見・解決力へと統合し、SGH課題解決型研究や国際貢献活動に生かす。

◇ 研究授業（現代社会）

- | | |
|---------------------|------------------|
| ○日時：令和元年12月12日 第5時限 | ○科目：現代社会 |
| ○実施クラス：1年6組 | ○授業者：古田智暉 |
| ○単元：変化する日本経済 | ○テーマ：新しい経済活動の可能性 |

◆授業の概要

- ・シェアリングエコノミーについての新聞記事を読み取って疑問点をまとめ、PCを利用した調べ学習で疑問を解消し考えをまとめる。
- ・グループに分かれて調査結果を交流し、新たに生まれた疑問点を深めてクラスで交流する

◆授業の様子



パワーポイントの活用



グループ学習の様子

◇ 研究授業の成果と今後の課題

- ・PCを使用した調べ学習の時間を取ったことで、すべての生徒が自分の考えをまとめたうえでグループ学習に臨むことが出来た。
- ・余り馴染みのない題材（シェアリングエコノミー）だったかもしれないが、すべての生徒が資料をよく読み、自分なりの考えと疑問点をまとめることが出来ていた。
- ・グループ学習を取り入れたことで、互いの考えに対する意見を交流し、さらに深い考えにまとめることが出来ていた。
- ・教員からの指示をさらに減らし、タイムマネジメントも含めて生徒に任せることが可能だったかもしれない。

◇ 研究授業（地理B）

○日時：令和元年6月26日 第2時限

○科目：地理B

○実施クラス：3年4組

○授業者：梅村 はる香

○単元：都市の立地

○テーマ：自然条件と社会条件が都市の発展に与える影響について考える

◆授業の概要

- ・静岡県にある対向集落（島田市・金谷）周辺の新旧の地図を比較する。2つの地図を比較することによって、明治時代から昭和時代にかけての土地利用の変化を読み取り、都市が発展する根拠となる地形的特徴を見付ける。
- ・昭和時代の地図から、島田市と金谷の間を流れる大井川周辺の集落立地の特徴を読み取る。集落の立地や家屋の形態から、大井川周辺ではどのような災害が起こる危険性が高いかを考える。

◆授業の様子



パワーポイントの活用



安全な行動について意見をまとめる



新旧地図の比較を行うペアワークの様子

◇ 研究授業の成果と今後の課題

- ・今回の授業は、問いを重ねることで1つの結論に辿り着くように構成されている。授業プリントの感想欄には、「自分で考えて答えを導き出すのが楽しかった」という感想があり、思考を重ねることの楽しさを体験できた様子が見られる。
- ・日常的に地形図に触れる機会を持つ生徒は少ないため、読み取りに苦手意識を持つ生徒もいる。今後も授業において地形図を活用する機会を増やしていきたい。
- ・単元構成や授業構成において、今回のような活動をどのような意図で、どこに位置づけるかを明確にしておく必要がある。その際、活動が単元又は本時の目標と一貫性を持つように工夫していきたい。